

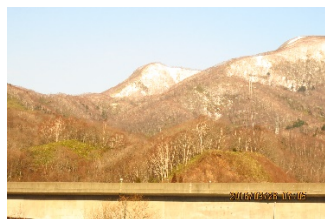
西来馬岳（742m）

実施日：平成28年3月26日（土）

参加者：総L澤田、L渡邊、藤木（晴）、山岳会一藤木（た）、
本野、笹山、太田、八重樫、鈴木、川村、宇田、近藤
山歩一光浪、藤田、宮尾、鳴原・・・16名

行程：p発；7時50分、3合目；8時50分、旧水場上
；9時40分、カムイヒュテ；10時05分、発；18
分、7合目；10時40分、カムイヌプリ頂上；11時
25分、西来馬岳頂上；12時07分、700m付近平
な尾根上昼食、12時30分～13時10分、カムイヌ
プリ；13時41分、ヒュッテ；14時15分、発21
分、とど松林出口；14時45分、3合目；15時0分
駐車場帰着；15時45分。

朝7時30分、川上公園駐車場に16名が集合、登山支度、準
備体操後、ツボ足で約5・6kmを歩く。全員スノーシュー、簡易ア
イゼンを携行。南に張り出した山。



林道をひたすら歩く。 A班、



B班の皆さん



8時40分頃切割りに到着、上部からの落石が多く、大きな物も
あり除去が大変。

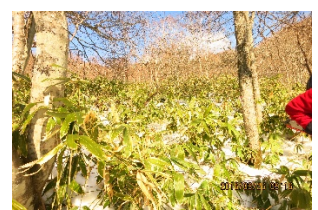


日当たりの良い土手にフキノトウが顔を出し、帰りのお土産
にそれぞれ決める。2・5kmも歩き、8時50分3合目に到
着、長かった。今日は天気恵まれ無風で汗ばむ。

今年は積雪が少なく、山菜の芽吹きも早そう。

いよいよ此処からが登山開始だ、冬コースの残雪が心配。

取り付け地点で判断するとのこと、



雪が少なく、笹が立っており、無理と判断し、夏道を辿ること
に決定する。

旧水場の上部でアイゼンを装着、雪の表面が少し硬い、安全を
考慮して滑り止を図る。

涙坂の急登は、馴れることはない、キツイ登りだ。

カムイヒュテに10時05分到着、休憩を採る。

小屋上部の枯れ木にキツツキの奮闘



鎖場は雪も無く、皆さん慎重に登る。

私は巻き道を一人登る。

冬の良い処は道なき処を自由に選択できる点だ、地図読みは確
りと、現在地を常に確かめてが、鉄則。



カムイヌプリに11時25分到着、ハイ“1枚



これから向かう西来馬岳の全景

細い尾根道を越え、時には岩場も越さねばならない慎重な
フットワークが必要

南に大きく張り出し、東側は切り立っているのが望める



山内先生の碑に黙礼、岩場の乗り越えはストックが邪魔になるので仕舞い、日の当たらない陰の場所が凍結しており慎重に乗り越す。

約南に380m位張り出した尾根を慎重に歩く、東側に大きく雪庇が張り出しており、誤って踏み抜けば50m以上は滑落の危険性大だ、端に近寄らないようコース取りをする。

大して雪に靴が埋まりもせず、順調に歩を運ぶ

12時07分西来馬岳(742m)の頂上に立つ、全員初登頂だ、ヤッタネ、おめでとうございます、

登頂記念にハイ“にっこり



下山時大きな亀裂が入った箇所があり、西側に寄った灌木の間を通る。

約700m付近の尾根上の平らな場所にツェルトと1張り設営、昼餉を摂る。暖かいので4名の方々がテント外で食事を採る。昼食(12時30分~13時10分)



岩場の北裏側の凍結箇所は危険なのでトラバースで迂回する。

皆さん健脚だ、帰りを急ぐ。カムイヌプリ13時41分、ヒュッテ14時15分。大休憩。



とど松林出口で装着アイゼンを外し、足取りも軽く15時に3合目に帰着、途中フキのとうをゲットしながら、15時45分駐車場に帰着。

長道中ご苦労さんでした。初めての山を全員無事に登頂出来有難うございました。

リーダー始め参加者に感謝いたします。

記 近藤